



## 残り少ない夏の思い出に

### 夜遅くまで踊りの輪が……

ことして28回目を迎えた町民盆踊り大会は、猛暑続きの8月15日から17日まで、商店街の目抜き通りで開催されました。15、16日は日中の最高気温が35.7度と今季最高を記録。期間中は、お盆を古里で過ごしている帰省客や家族づれ7千人が涼を求めて見物。仮装やゆかたがけの踊り手が延べ3千人が参加して、残り少ない夏の思い出に、夜遅くまで踊りの輪が広がっていました。

#### 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

7月31日現在		(前月比)	
総人口	25,137人	(6人減)	
(出生)	17人	転入	54人
(死亡)	13人	転出	64人
男	12,235人	(12人減)	
女	12,896人	(6人増)	
世帯数	7,292世帯	(7世帯増)	



最高気温が三十五・七度と、この夏最高を記録した八月十五日に、中央公民館で新成人の門出を祝う成人式が行われました。ことしは対象者二百五十四人のうち三百四十四人(男一五三、女一九一)が参加。真夏の成人式とあって、ほとんどがワンピースに、半袖、ネクタイ姿という軽装で出席していました。

式典では、出川町長が「知識と経験を生かし、国際的な幅広い人格を形成して、郷土のために健闘してほしい」とあいさつ。成人者を代表して、摩当・柳谷榎子さんが「社会の一員として主体性と自主性を持ち、責任を行使しながら、地域の発展に貢献したい」と、はたちの決意を述べました。

**式 辞**

出川町長は「知識と経験を生かして……」と激励のあいさつ

**答 辞**



柳谷榎子さん(摩当)が「地域の発展に貢献したい」と答辞を述べました

記念講演では、綴子上町出身のNHK報道局チーフディレクター・高橋照彦氏が「テレビ番組の現場から」と題して、昨年九月に起った大韓航空機墜撃事件の、生なましい取材について話されました。

参加者が記念撮影をしたあと、正午から祝賀パーティーが開かれました。パーティーは実行委員会会の自主運営で参加者が千円を負担。乾杯のあとは、久しぶりの再会にテーブルを囲んで、思い出話しやかくし芸で賑わっていました。

また、大野台営農中学校に留学している中国留学生十人も特別に参加。パーティーでは、おたがいの話しがはずみ、日中交流も盛んに行われていました。



**発 表**

新成人の喜びと決意を発表する(右から) 畠山真樹子さん(大畑)、五代儀基くん(あけほの町)、三浦尚子さん(坊沢)と中国研修生の二人



**講 演**

NHKチーフディレクター・高橋照彦さんが「大韓航空機墜撃」について取材の裏面を話された

# ことしの新成人は354人

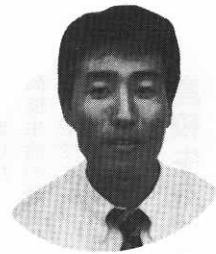
## 式典に



### 祝 芸

中学時代のクラスごとに自慢の芸が飛び出しました

## 少年時代の甘えは通用しない



堂ヶ岱・小塚 嘉英

日本は法治国家なので、法律による未成年者の規制が多い国でもあります。私は、これまでも少なからず窮屈な思いをして過ごすことが、たびたびあったのです。

その一つに飲酒の規制がありましたが、晴れてお酒を飲むことが出来るので、ホット胸をなでおろしています。お酒の功罪は多いと思うが、たくさんの人と交わり、気軽に話し合いが出来る利点は、人格形成のうえでバネにして行かなければならな

いと考えています。

そのほかにも、たくさんのお酒が与えられることになりませんが少年時代の甘えは通用しません。逆に社会人として責任ある行動が要求されてきます。

私は、父の後を継いで農業に従事していますが、厳しい農業情勢を克服するためにも、知識を広く深く身に付けなければなりません。時間的には自由ですが、農業経営では責任ある経営計画でなければなりません。このことは、はたを過ぎた私には大きな試練となります。

十五日の成人式に出席して、久しぶりに同級生たちと再会した。中には中学卒業以来初めて会った人もいて、その変わりぶ



坊沢・三浦 尚子

りに目を見張ったり、中学時代の面影をそのまま残している人を見て懐しさがこみあげたりで、本当に楽しい一日だった。

進学した人、就職した人、進んだ道は様々であるが、その日私が一番感銘を受けたのは、就職して、一足早く社会人として生活している人たちの姿だった。「今、どうしてるの」と尋ねた時、少々はにかみながら「働いている」と答えた友人達の瞳には何か真摯なものが感じられた。

## 式典を境に成人としての自覚が

ああ、立派だなあ、と心から思ったのである。

職場での人間関係、社会の一員としての立場、働くということの厳しさとその責任の重さ、その中で毎日揉まれながら身についた礼儀や態度は、まさしく成人として相応しいものであった。今まではいつまでも子どものままでいたくて、大人の社会の仲間入りをするのが不安だったが、式典を境に、漸く成人としての自覚が芽生えつつある。社会人としては先輩である彼らに、何か教えられたような気持である。(三浦さんは帝京大三年生)



### 乾 杯

晴れて成人、きょうからアルコールが解禁になりました「乾杯、

大会をふりかえり

好評だったインターハイ

町民の熱意が実を結ぶ

町内で応援団をくり出して

涙で別れを惜しむ

新舟見町・熊谷 正三郎

鷹巣児童館に併設された町内会館に浜松湖東高校の選手を迎えましたが、困ったことは、食器や寝具がないこと、また初めての経験なので、役員会を数回開くなど歓迎準備が大変でした。

事務局の割当て以外に、チームの練習コートを確認するため、各方面に連絡を取り、東小と宮農大学の体育館の借用。試合が始まると、町内で応援団を編成し、二日間声をからして、我が子のように夢中になって応援しました。負けて帰る前夜は、選手と町内の人達で会食し、残念会を開きましたが、それぞれお



国自慢が飛び出すなど、楽しい交流の場がもたれました。翌朝は、涙で別れを惜しみ、いろいろ苦労しましたが、思い出多いインターハイでした。

全国の子選を勝ちぬいた五十四チームを前に、地元高校生を代表して歓迎のあいさつを述べることになりましたが、開会式では、式次第が進むにつれ、緊張が高まってきました。

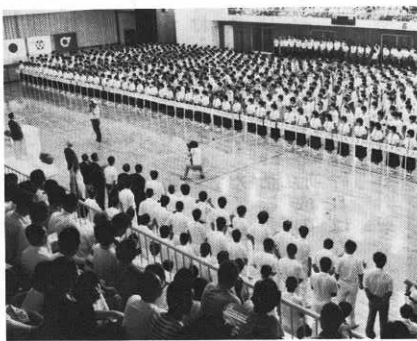
先生からは、「落ち着いて、言葉ははっきり」と、言われていたので、演壇ではまず一呼吸。あとは語尾を大切に、と心がけたので、思ったより気楽にあいさつを述べることができました。

高校生活の最高学年に、こうした形でインターハイに参加でき、よい思い出になりました。

高校生を代表してあいさつ

思ったより気楽にできた

鷹巣農林高校三年・佐藤 淳一(妹尾館)



民泊を世話して

全館清掃に感心した

綴子下町・藤島 キク



綴子基幹集落センターは、宇都宮女子商業高校の宿泊となり、婦人会は有志で二十二人の選手をお世話しました。

連日の猛暑の中で食中毒には特に細心の注意を行なうと共に、朝夕は水の打たれた玄関で選手を送迎する様に心掛け、日中は毎日応援に出ました。

選手の皆さんは食後の片付けなど必ず自分達が行ない、出発当日は全館を清掃して帰路につきました。

数々の不備な点もあったと思いますが、あつさも、疲れも忘れた張りつめた六日間でした。

「日刊そうたい」を編集して  
取材が楽しかった

鷹巣高校三年・藤田真紀子(七日市)

どんな事も自分でやってみて初めてその大変さを知る。原稿書きひとつをとってみても、決められた字数で文章をまとめることは容易ではなかった。

原稿書きも然る事ながら、取材も大変で、一体どんな事を取材したらいいのか、曖昧なうちに取材していた。しかし、繰り返し行っているうち



にどんな風にしたらいいのか  
掴め、沢山の人と話をする  
ことが楽しかった。今回は、  
とても良い勉強が出来たと思  
う。取材の時、中学生に間違  
われたのは残念でした。

### 一戦一戦が緊張の連続

合川高一年・長谷川晋(太田屋敷後)



審判は、選手のプレーを正しく判断してジャッジしなければならぬ。その点私たちがラインズマンも目立たないが一戦一戦が緊張の連続でした。アウトボールを見分けるのも大切な役目だが、ワンタッチ、メーカー外通過、サーバールのライントロスと、ボールを中心にした選手の動きから目が離せない。試合の流れ

れをゆっくり見物するといいう訳にはいきません。でも、準決勝の四天王寺と八王寺のラインズマンを努めたことは、思い出になりました。

### 町バレーボール協会から 町民の皆さんに感謝します

副会長・細田茂明(大堤)



この一年半、高校総体一色で準備して来られた実行委員と、大会事務局の皆さん、ご苦労さまでした。三十六年の秋田国体で、「バレーの町鷹巣」と云われたが、今回も国体以上の大会にしようと、心を一つに

頑張った成果だと思えます。また、秋田国体の遺産がいたる所にありました。県外の役員の方々が「鷹巣には前にも来ました。ぜひとも成功させてください」と、積極的にアドバイスしてくださったことなど、非常にやり易い大会だったと思えます。今回の大会の特徴として、地元高校生が、選手と同じ気持でインターハイに参加したことです。プラカードや立看板などは全部手作りでした。自分たちで出来ることは、自らの手で。このスローガンを忠実に実行した高校生の皆さんは、この大会から大きな何かをつかみ取ったと思います。

また、インターハイに真心をもって接して下さった、町民の皆さんに心から感謝いたします。

### 高体連バレー部会から バレーの歴史に信頼と協力

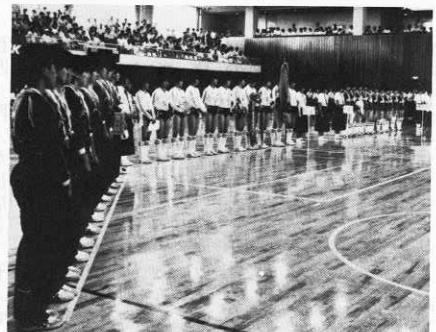
常任委員・細田修一郎(鷹高教諭)

全国高校総体女子バレーは鷹巣町の絶大な支援体制のお陰で見事、成功裡に幕を閉じた。

真夏の炎天下、地元役員、高校生補助員の呼吸のあった運営は鷹巣町のバレーボールの歴史に信頼と協力が奏でる

成就感をたからかに刻みこんだ。練りあげた周到な準備とバレーを愛する人々の熱意が実を結んだ大会の実績は町の明日からの歩みに大きな自信と誇りを生み、全国のバレーの町、鷹巣となろう。

高体連バレー部会より深甚



なる感謝を申し上げます。

# 子ども会相撲

## 舟場が一年ぶり七度目

### 個人は村井くん(2年)と宮野くん(3年)

第十七回町子ども会相撲大会は、八月十二日午前九時から鷹巣体育館で行われました。

館内は、応援にかけつけた友だちや父兄の声援を受けて選手はハッスル。珍プレーも続出で、熱気をおびながらも笑いをさそっていました。

団体は、先鋒が四年、中堅が五年、大将が六年と決められており、予選リーグ二回戦を行ったあと、上位三十二チームによ

る決勝トーナメントが行われました。

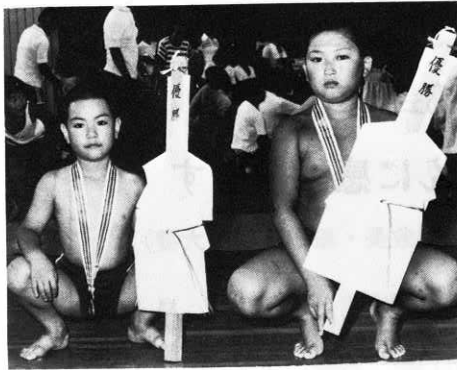
館内は、応援にかけつけた友だちや父兄の声援を受けて選手はハッスル。珍プレーも続出で、熱気をおびながらも笑いをさそっていました。

決勝は、これまで六回優勝している舟場A(沢口)と、進境著しい日の丸(花園町)の対戦となりましたが、三選手とも鋭い攻めで圧勝。3対0で七度目の優勝を決めました。

個人戦は、二年の部で村井研二くん(ボブラ)、三年の部で宮野尚法くん(前野)がそれぞれ制しました。

#### (団体決勝トーナメント)

- ▽二回戦 舟場A2-1 沢藤A 緑ヶ丘A2-1 掛泥 南鷹巣A
- 2-1 小ヶ田 堂ヶ岱A2-1 小森A 糠沢B2-1 太田 大堤A2-1 南鷹巣B 日の丸2
- 1-1 若葉 沢藤B2-1 新星A
- ▽三回戦 舟場A3-0 緑ヶ丘A 南鷹巣A2-1 堂ヶ岱A
- 大堤A2-1 糠沢B 日の丸3



1-0 沢藤B

▽準決勝 舟場A3-0 南鷹巣A 日の丸2-1 大堤A

▽三位決定戦 大堤A2-1 南鷹巣A

▽決勝 舟場A3-0 日の丸(個人)

▽二年の部 ①村井研二(ボブラ) ②成田薫(光) ③本間太郎(鷹舟)

▽三年の部 ①宮野尚法(前野) ②佐藤考徳(小森) ③三沢雅彦(大堤)

■1日(水) 5日(日) 全国高等学校総合体育大会・全日本バレーボール高等学校女子選手権大会の会場は、三年前から決定し、着々と施設の整備をはじめ諸準備を完了し、朝野を挙げて万全の体制で臨んだ。出場五十四校は各都道府県の子選を勝ちぬいただけあって、競技力は抜群、内容の充実した大会であった。連日三十度を超す高温で、選手は勿論、役員、応援者、観客ともどもご苦労であった。

■11日(土) 森吉町外四カ町村病院組合管理者、副管理者会、および臨時議会在開催された。

■12日(日) ことしで十七回目を迎えた全町の子ども会相撲大会が鷹巣体育館で行われた。団体、個人戦におよそ三百人が参加。父母の声援を受けて、チビッコ力士は、元氣いっぱい土俵上で健闘。勝負は別にして、心と体が健全に育くむことを希うものである。

■15日(水) ことしの成人式



## 町長日誌

出川 禮一

8月1日~15日

ここに各団体、機関をはじめ地元高校生、そして関係町村民に対し、心からお礼申し上げます。

■6日(月) 大野台開発推進協議会がハイランドで開催された。

■9日(木) 三千万円以上の工事請負契約は議会の議決が必要。鷹森線農免林道舗装と小糠沢線団体営農道整備事業舗装の契約締結で臨時議事を開いた。

■10日(金) 秋田市で県町村会総務委員会が開かれた。

は該当者三百五十四人中、三百四十四人が出席して行われた。心身ともに成長して、新しく成人になられた青年を祝福。二十歳になって道徳的にまた制度的に一人前の権利や義務(責任)は定まっている。義務(責任)は、本人の意識等の有無に係りなく生ずるが、権利は自からの意識した行為や行動によって得られるものである。人生は長いようで短かいものであり、小さくとも一歩一歩着実に前進を...と式辞を述べた。

# おしらせ



## 乳幼児の相談は「移動スギの子ひろば」へ

乳幼児を持つ親を対象に、子育てに関する個別相談事業「移動スギの子ひろば」が開設されます。

これは、県と町の教育委員会が主催し、育児やくらし、家庭教育上の具体的な問題についてそれぞれの専門の先生方が講話と個別に相談に応じてくれるものです。

悩み事と大きく考えないで、ちよつと気になること、これからの育児の参考にしたいたいことなど、気軽に参加し相談ください。よう、お待ちしております。

### ▼場所〓鷹巣中央公民館

▼日時〓九月十日(月)

▼十時から開会 〓十時二十分

〓十一時五十分 講話「乳幼児

期の心の発達」秋田大学教育学

部助教授・長崎拓士氏「幼児の

心のしつけ」県特殊教育センタ

ー指導主事・塚本寿之氏 〓十

一時五十分〓十二時十分まで質疑応答 〓十三時〓十五時まで個別相談

※個別相談コーナーでは、心理、特殊教育、保育、生活の各コーナーがあります。

▼対象〓〇歳から五歳までの子供を持つ父母、祖父母など子育てにかかわりのある方。

▼申込み〓希望者は中央公民館(☎〇二一三〇)へ申込んでください。講話だけ聞かれても結構です。相談は無料です。

## 就学相談所を開設します

9/14

子どもが健やかに生まれ育つことは、親としてだれもが願っていることですが、いろいろな原因で心身に障害をもつて生まれたり、成長していく過程で心身に障害をもつようになることがあります。

このような子どもをもった両親は、いろいろ悩み、病院や相談施設に通った経験があまりありません。

こうした両親の心配をできるかぎりなくし、子どもが適切に教育をうけられるよう願って、みなさんのご相談に応じます。

お気軽にお願いください。

▼主管〓秋田県教育委員会・鷹巣町教育委員会

▼日時〓九月十四日(金)

午前十時から午後三時まで

▼場所〓鷹巣小学校

▼対象〓就学前(四〓五歳)の子どもさんの心身の発達で悩みの保護者と子どもさん

▼相談方法〓医師や特殊教育センター所員が保護者と話ししたり、子どもの観察や診察を行うことがあります。

▼申込〓鷹巣町教育委員会へ(☎二一三一一)(内線二六一

## 「停電のおしらせ」

九月の作業停電は、次の地区です。

▼3日〓新舟見町、伊勢町(午前八時から正午) 〓7日〓作

坂、自動車学校付近(午後一時半から四時半) 〓10日〓妹尾

館、品類(午前九時から午後一時) 〓11日〓舟見町、元町(午

前九時から正午) 〓13日〓深

閑(午前九時から正午) 〓17日〓糠沢、向黒沢(午前九時から正午)

## 交通事故無料相談

日本損害保険協会では、交通事故無料相談に応じております。

▼場所〓秋田市中通三丁目二一

四四(河北ビル) 秋田自動車

保険請求相談センター

▼相談時間〓平日は午前九時三十分から午後四時四十分まで、

土曜日は午前九時三十分から正午、第二土曜日は休みにます。

▼弁護士相談日〓毎週木曜日(午後一時から四時まで)

※電話の相談もお受けします(☎秋田三三二二二七九)

## 国有林に木を植えてみませんか

秋田営林局では、昭和五九年

度の部分林の申し込みを受け付けています。

▼期間〓九月三十日まで

▼場所〓県内の国有林二四カ所、約六二〇

▼資格〓一定の条件を備えていれば誰でも受け付けます。

▼申込先〓申し込み順に受け付けていますので、お早めに鷹巣

営林署(☎二一三一一)または秋田営林局管理課(☎秋田

三六一二〇二八)へ

※部分林とは、あなたが国有林に植えて育てた木が成林した時に、あなたと国有林が収益を分け合う制度のことです。

## 「善意の文庫」の本を返してください

中央公民館ロビーに「善意の文庫」を設置し、本を自由に貸し出していますが、八月現在で六十冊余りが返本されていませ

ん。至急お返しください。

水銀は有害物質……町で回収

使用済みの■乾電池■蛍光灯■体温計■その他水銀が含まれているもの…は9月1日から町で回収しますので、近くの集会所へ持っていく「有害物回収函」に入れてください。(くわしくは次回広報に掲載します)

9月2日(日)は

## 第22回町民体育祭です

開会式……午前9.00

終了予定……午後3.20

# 猛暑のお盆

七月下旬から晴天続きで、一週間以上も三十度を超す真夏日となり、お盆期間中も、十五、十六日が最高気温が三五・七度と、



歩行者天国の豚レース



綴子のふるさとまつり

いづれも今季最高を記録しうつとらしい夏となりました。

八月十三日は、お盆供養のため、遠方か



坊沢の獅子おどり

らの帰省客で賑わい家族、親戚そろつての墓参風景が見られ、全集落で活気づいていました。

また、各地区では暑気払いの行事が目白押しで、坊沢、綴子、中屋敷では伝統の郷土芸能を披露。その他の地区では、広場を利用した盆踊りやスポーツ行事が盛りだくさん。鷹巣地区では、十五日に『歩行者天国』が復活し、豚レースやクジ引きなどが行われていました。また第27回町民盆踊りには三日間で、三千人の踊り手を動員。訪れた見物客を楽しませていました。





▲家族そろって喜参り

# 暑気払いに

# 多彩な行事



▶竜森地区の球技大会

**中屋敷の  
郷土芸能**

**古老の指導で  
7年ぶりに復活**



# 小、中、高生が いっしょにキャンプ

鷹巣地区PTA地域活動



今、青少年の健全育成に大きな使命をもっているのがPTAの地域活動です。しかも小・中高と、同じ地域に住む親と教師が常に緊密な連携下にあることが大切です。

「鷹巣地区小・中・高生を持つ親と教師の会」は県下でも珍しいケースであり、その事業のあり方は、この種諸活動に多くの示唆を与えてくれます。

八月十一日(土)と十二日(日)、大館少年自然の家で実施された親子キャンプの参加者は、小学生七、中学生一五、高校生二、大人(会の役員)八の三二名でした。年代のちがう子どもたちが計画に従って行動し、同じテ

ントで一夜を過したことは意義あることでした。日程はつぎのとおりです。

八月十一日(土) 十時半入所式  
▽秋葉山(三二八米)登山、昼食  
▽ファイルドワークⅡ  
Ⅱの山道コースをグループで設問を解きながら歩く。▽夕食Ⅱ飯ごうでめしを炊き、自分達でライスカレーをつくる。▽キャンプファイヤーⅡ他の団体と約一二〇人で実施  
▽入浴就寝  
十二日(日) 六時起床  
▽朝食準備、朝食(豚汁、つけもの、タラ子) ⅡウオークラリーⅡ約二、地図を頼りに、グループで、クイズを解きながら、時計なしで予定時間までに帰る。

▽昼食 Ⅱ退所式一三時  
〔感想文抜粋〕

鷹中一年 佐々木直美

私たちの班は、一つのテントに小・中・高生混合で、六人がいっしょに生活することになりました。最初のうちはなかなかとけこめず「帰りたい」「来なきゃよかった」などの会話もありました。

だが先輩たちは私たちが思っているほどかたい人たちでなくトランプなど出して、とても親切にしてくれました。一つのテントに生活して共に誤解がとけたという感じでした。(以下略)

実行委員長 千葉 文吉

みどり濃い自然の中で精いっぱい汗を流し交流を深めました。登山では年少者を先頭に、登りよりも降り方が難しい事、自炊では野菜の洗い方、切り方、飯ごうでめしの炊き方を、ウオークラリーでは図面の見方、時計なしでの時間の長さをはかること、グループのまとまりの大切さを知ることができました。

そして土の上で寝るつらさ、団体生活のきびしさなども、子供のタテの関係がいわれている中で、与えられた楽しさだけでなく、自分たちがつくる楽しさのあることを少しは知ってくれたのではないかと、思っています。(以下略)

## 交通死亡事故



## 相次いで発生



スピードの出し過ぎや、飲酒運転による、交通死亡事件が7月、8月と相次いで2件発生し、2人の尊い命がうばわれています。

とくに、若者の無謀運転が目立ちますので、家庭や職場で安全運転の指導されるようお願いいたします。

シートベルトは必ず着用しましょう。



### スポ少野球は中央小が制す

町内スポーツ少年団の交流と技術の向上をねらいに教育委員会と体育協会の主催により鷹巣農林高校で野球教室を開設していましたが、総まとめとして8月8、9の両日、同野球場で第9回野球大会が行われました。この大会は小学校5年生以下でチーム編成するもので、町内から6団が参加。予選リーグ、準決勝をぬいた中央小と子鷹の決勝で、13対6で中央小が優勝。

町漁業協同組合（渡辺茂雄組合長）では、地元産のアユを多くの人に試食してもらおうと、第1回の「アユまつり」を鷹巣児童館前で開催。同漁協は内水面漁協の活性を図るため、アユ3万尾を放流していますが、米代川、小猿部川は大型アユの釣り場として全国から脚光を浴びています。今回は東京、千葉、青森からも同好者が参加。採りたてのアユの美味を試していました。

### 「アユまつり」で美味を試食



### チビッコ力泳で11個の大会新

連日30度を超す猛暑つづきの、8月17日午前8時30分から西小学校プールで、第6回町内小学校水泳大会が開催されました。まっ黒に日焼けしたチビッコスイマー310人余りが、5、6年男女別の24種目（自由、平泳、背泳の50、100メートル）で力泳していました。

プールサイドに陣どる父母の声援に気をよくしてか、5種目で11個の大会新記録ができました。

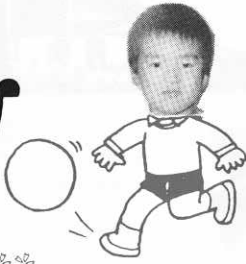


交通安全協会の前山支部と田中支部は、帰省ラッシュが続く8月12日から14日まで、国道7号線と105号線で、交通安全を呼びかけて、ドライバーにアイスクリームやアイスコーヒーをサービスしていました。お盆は長距離運転で帰省する人も多く、疲れと暑さのために事故が起きやすくなるので、両支部の役員や婦人会員が、シートベルトの着用などを呼びかけたもの。

### 帰省客に交通安全を呼びかけ



# の広場



東保育園  
いかりやつとむくん(5歳)



八月十五日が国の祝日になって、国民皆ひとすじに敬老と、今日までの労苦に対し、感謝の意を捧げるときであると思う。私はこの敬老の日を契機にして、反省と発奮の区切りにして貰いたいものだと考える。



前山 野呂 満美(67歳)

## 今回のテーマ 『敬老を考える』

反省と発奮の区切り

あるお年寄りは「やつと敬老(七〇歳)にあがったので、なにも心残りはない」と言われた。他の方は「私達は今まで苦労してきたのだから、遊びたい程遊んで他人につべこべ言われることなく、勝手気儘にやるんだ」と、なる程両者の意見には、それぞれの意味や哲理はうかがえるが、煎じつめれば各人の人徳や人柄がしのばれてくるような気がする。

年輪の如く毎年めぐってくる敬老の日に、常に反省と感謝の気持を忘れてならないということである。

## 対談 親の意見・子供の意見



ツムラサキ

(ツムラサキ科)

熱帯アジア原産のつる性の一年生草本、九州南部では野菜として作る。近年、町内でも栽培している人を見かける。茎がつるで果汁で紫色を染めるから言う名前である。

(南小学校 畠山益徳先生)

## ふるさとのみなさんへ

### 恵まれた自然と心の美しさが脳裏に

神奈川県厚木市・成田 功(40)

昭和三七年に、鷹巣農林高校を卒業、故郷を離れて、二年の歳月が過ぎ去りました。現在は、神奈川県警察官として、観光地・江の島を管轄にもつ藤沢警察署に勤務しています。

警察官になって二十年、ここの二月に永年勤続の表彰を受けることができました。今後は、定年まで十数年ありますが、県民の命を守るため、健康に留意しながら頑張らな

ければと決意しております。勤務を通じて取り扱う事件事故は、人間としての「思いやる心」を忘れて、自分本位の利益を目的とした殺人、強盗など、眉をひそめるような悲惨なものばかりです。

勤務から解放されて、脳裏をよぎるのは故郷の恵まれた自然と人間の心の美しさです。私は、秋田県人でありたいという願いから、古風ではあるが、尺八を習い、秋田の民謡で気分を転換しております。趣味を通して同郷人の友達もふえ、秋田弁で話しが通ずる楽しさもあります。

写真は20年前のものです

今日では、物質に恵まれ経済的に豊かになりましたが、反面、心の貧しさが目につきます。我が鷹巣町だけは、いつまでも人間的な触れ合いを大切に、住みよい町であるよう望んでいます。

▽成田さんは太田出身で、成田仁吉さんの三男です。

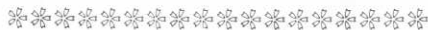




東保育園  
いまがわゆかりちゃん(6歳)



# みんな



人間として生きる目的の一つに果し得なく終ろうとしており、唯々お世話になり続けてきたことを恥ながら、敬老の日を迎える度ごとに、常に感謝の気持ちを忘れない人間であって欲しいと念願する。

## 老人ともつと会話を



大 堤 星子(31歳)

「年はとりたくないもんだね」そんな言葉が日常の会話の中に良くでてくる昨今、現代の回りの老人達を見てみると、自分の趣味を生かしたり、ゲートボールをやったり、結講エンジョイしている人も増えて来ているよ

## 広報ののび

### 台 風

九月はいやな台風シーズンです。

台風は毎年、必ずといっていいほどやってきて、日本のどこかへ上陸します。たとえ上陸しなくても、本土近くを通れば、大雨を降らせたりして被害を残してゆきます。日本ばかりがどうしてそんなに災害を受けなけ

うです。

情報機関が進み、コンピュータの目覚ましい発展に伴い、現代っ子達は目だけで物事を判断しようとしている。ややもすれば大人までが、それらに振り回されている気がします。

その点おじいさんや、おばあさん達と話をしていると、自分達の歩んで来た長い時代を目で、耳で、そして何よりも身体で精一杯築き上げて来た様子が感じられます。

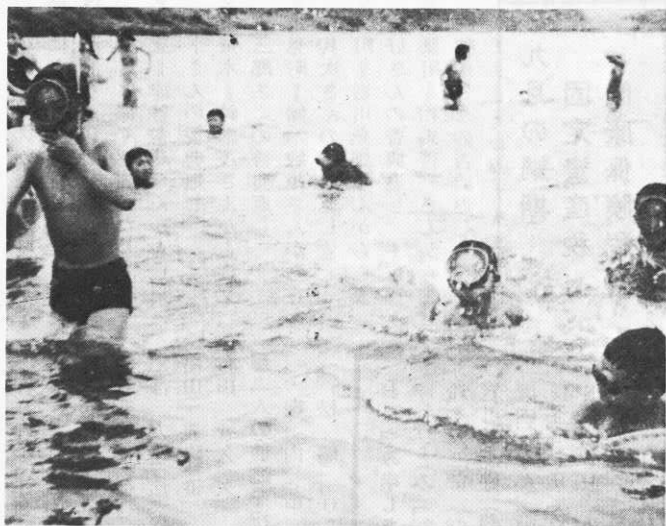
そんな老人との会話が、忙しく厳しい社会の中で生活する私達に、心の豊かなあたりまえの生活ができる様にさせてくれる気がします。

そして、私もまた、行く末はゲートボールでも楽しみなながら、「伊達に年をとってるんじゃないよ」と言える様な、老人になりたいもんだと思っています。

ればならないのでしょうか。

我が国は、よその国にくらべて気象の変化がはげしく、高気圧と低気圧がひんばんに通る中速度にあつて、しかもアジア大陸と太平洋の境目に位置しているからだ：と説明されています。台風は地震とちがって突然やつてくるものではありません。各地の気象台から、進路や速度がラジオやテレビで放送されるので、心がけておきましょう。

写真は、昭和35年前後のものですが、当時はプールがなかったので、米代川が唯一の遊泳場所でした。子供たちは車のチューブを浮輪にして泳ぐなど、自然の中で遊びのび遊んだものです。現在は、水の事故や衛生的な問題から各学校にはプールが設置されています。



## たかのすの昔

おしらせ



一線美術会運営委員 九島喜一氏

九月の健康相談

九月の健康相談は、次のとおりです。成人健康相談は、十二日と二十六日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、三日と十七日です。時間は、午前九時から午後三時まで。妊婦検診、検尿、体重測定など行います。毎週月曜日には母子手帳を交付します。※場所は、いずれも中央公民館

保健相談室です。

◆ ◆ 離乳食実習指導は、二十日、五十九年二月生まれとなっております。

◆ ◆ 受付時間は、午前九時半から十時まで。

◆ ◆ 乳児健康診査は、二十日、五十九年五月生まれとなっております。

◆ ◆ 受付時間は、午後一時から一時半まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

◆ ◆ 三歳児健康診査は、十三日、五十六年七月、八月生まれとなっております。

◆ ◆ 受付時間は、午後一時から一時半まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。 ※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

予防接種

生後二四カ月から四八カ月(五十五年九月四日から五十七年九月四日)までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は四日、鷹巣地区の方は五日に行います。

行います。

◆ ◆ 受付時間は、午後一時から二時半まで。場所は中央公民館ホールで行ないます。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

結核検診と一般健康診査

◆ ◆ 結核検診、一般健康診査が各地域で実施されます。

◆ ◆ 結核検診は学生、妊婦、職場で受けている場合は受診しなくてもよい。

◆ ◆ 一般健康診査の受診対象者は四十歳以上の方で、事業主検診やドック受診予定者または高血圧、心臓、糖尿病等で診察を受けている方は対象となりません。 ◆ ◆ 診査項目は問診、身体測定、血圧測定、検尿、医師による診察を行ないます。

◆ ◆ 一部負担金は一般診査の方百円、精密診査の方六百円ですが、七十歳以上の方、生保世帯の方は無料です。

◆ ◆ 日程は次のとおりですので、必ず受診してください。

- 9月3日 高村岱、高森岱(高村岱会館) 品類(品類会館)
中屋敷(中屋敷会館) 4日
四波(四波会館) 湯ノ岱(湯ノ岱会館) 坊山(坊山会館)
小森(小森会館) 5日
岱(堂ヶ岱会館) 沢口舟場(舟場会館) 6日
川口、湯車(川口会館)
南鷹巣(南鷹巣会館)
7日
黒沢(黒沢生活改善センター)
前山(前山児童館)
今泉(今泉生活改善センター)
10日
相善(相善会館) 羽立(羽立会館)
11日
街道町、上町、町、新屋敷、大町(坊沢公民館)
12日
深閑(深閑会館) 新田中(くるみ館児童館) 田中、南田中(田中生活改善センター)
14日
小ヶ田(小ヶ田会館)
緑ヶ丘、佐助岱(緑ヶ丘担い手センター)
蟹沢(蟹沢会館)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ▽芳志に深く感謝いたします。
▽羽立 津谷常蔵さんから亡母サトさんの香典返し
▽上舟木 鈴木茂さんから亡父繁三郎さんの香典返し
▽舟見町 鈴木敏雄さんから亡父其次さんの香典返し
▽大町 岩川光雄さんから亡妻規好さんの香典返し
▽松葉町 相馬善一さんから亡父善治さんの香典返し

慶弔だより

8月1日〜8月15日

- 誕生おめでとうございます
伊藤香弥子(金弥) 長女(前)野明石 陽子(光男) 長女(明利)又藤原 啓太和明(二男)新田中 小笠原 皓(義美) 二男(綴子)大畑 明石 栄晃(二女)与助岱 藤原美枝子(興士美長女)下舟木 佐藤ゆかり(徳蔵) 長女(相善)町 佐藤 有理(武光) 長女(坊)山 大川 育世(幸一) 長女(東横)町 日沼さくら(淳一) 二女(南鷹巣) 佐藤 七恵(修悦) 二女(宮前)町 三澤 玲奈(幸雄) 二女(田)中 工藤 弥(義広) 二男(住吉)町 佐藤 夏子(茂延) 長女(羽)立 津谷 裕子(徹) 長女(深)閑 三澤 友幸(広秀) 二男(田)中 畠山 義隆(進) 二男(南鷹巣) 布田 智久(久) 長男(七日)市
■二人の前途を祝福いたします
堀内 浩行 綴子上町
松岡 洋子 合川町
おくやみ申しあげます
津谷ひとみ(29歳) 相善町
鈴木繁三郎(68歳) 上舟木
岩川 規好(53歳) 大町
簾内 孝美(21歳) 今泉
長谷川アサ(94歳) 下町
根本 正志(70歳) 下町
藤原 ハル(86歳) 下舟木

九月の納期 固定資産税 健康保険税